

## 株式会社 IMAGICA Lab. 様 東京映像センター

各種コンテンツの映像／音響制作を手がける「株式会社 IMAGICA Lab.」様。都内事業所の一つ、五反田に位置する東京映像センターは、制作物の最終確認などを行う試写室を大小 4 部屋有しています。そのうちの第四試写室は 30 平方メートル程とコンパクトで、主にデジタルシネマ／DCP の品質管理が行われています。その第四試写室のスピーカー・システムを、スタジオ・モニター「7 Series」をはじめとする JBL PROFESSIONAL 商品に一新していただきました。システムの構成は 7.1ch サラウンドで、フロントに 708i Passive を 3 本、サラウンドに 705i Passive を 6 本（サイド左右に各 2 本、バック左右に各 1 本）設置。サブウーファーには「AE Series」の ASB6112 を組み合わせ、CROWN のパワーアンプ「DCi Series Network」で駆動しています。

最近の作品は低域に相当なエネルギーがあり、開設以来使用していたニアフィールド・スピーカーではウーファー・ユニットが飛んでしまうこともあったそうです。規定レベルよりも抑えて再生することで負担を軽減したものの、他の大きな試写室との音量差が問題となっていました。システム更新後は、音量差がまったく気にならなくなり、シネマ・スピーカーのダイナミックレンジに非常に近い印象を持たれたそうです。中でも 705i Passive は、5 インチの低域ドライバーとは思えないほどの低域再生能力だと高い評価をいただきました。「サラウンドの解像感もとても高くなり、すべてが本当によく聴こえます。」と、大変ご満足をいただいています。

2018 年 9 月運用開始



◀「IMAGICA Lab.」東京映像センターにある第四試写室。主にデジタルシネマ／DCP の品質管理で使用される



フロントの「708i Passive」3 本とサブウーファー「ASB6112」▶



▲サラウンド用に「705i Passive」を計 6 本設置。優れた低域再生能力により、迫力のサウンドを提供



▲パワーアンプはフロント・スピーカー／サブウーファー用に「DCi 4|1250N」、サラウンド・スピーカー用に「DCi 8|3000N」を導入

## 主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
2-Way フルレンジ・スタジオモニター	JBL PROFESSIONAL	705i Passive、708i Passive
サブウーファー	JBL PROFESSIONAL	ASB6112
パワーアンプ	CROWN	DCi 4 1250N、DCi 8 3000N

## 株式会社 IMAGICA Lab. 東京映像センター

〒 141-0022  
東京都品川区東五反田 2-14-1  
<https://www.imagicalab.co.jp/>